

No. 14

平成17年10月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856静岡市葵区駿府町1-70

静岡県総合社会福祉会館内

TEL 054-653-2311 FAX 054-653-2312

E-mail: sizurosi@vesta.ocn.ne.jp

しず老施協

巻 頭 言

居住費、食費の徴収に
利用者は納得しましたか静岡県老人福祉施設協議会
21世紀委員会

委員長 栗野裕治



介護保険法改正案が六月に通過し、特別養護老人ホーム、デイサービス、ショートステイは十月から利用者に対して居住費（ホテルコスト・光熱水費）、食費の徴収が始まりました。介護保険法では介護報酬の改正は三年に一度の見直しが法律で定められております。しかし、今回厚労省は、国の財政的な問題から半年前倒して介護報酬の減額を行

い、利用者から居住費、食費を徴収することになりました。この件については、八月の終わりから施設関係者への行政説明が行われ、利用者、家族に対し早急に説明をするよう要請がありました。十月まで一ヶ月弱と十分な準備期間もなく、また情報も少ない中で急遽説明会を開催するなど、施設現場は混乱し、利用者への対応で忙しい日々を過ごされたことと思います。

利用者は、今回居住費、食費の負担を納得されたのでしょうか。それは納得するしかなかったのではないのでしょうか。負担が増えたからといって明日から施設を退所しなければならぬ、サービスを使うのをやめるか減らすしかない、しかし現実的には無理なこと。国はいつも国民に負担してもらえばいいと簡単に考えている。例えば医療費の三割負担、年金カット、また来年一月からの所得税増額、そしてさらに消費税の値上げが予想されるなど、国民生活はますます苦しくなるばかりです。

新介護保険制度への対応

今後施設経営をどうしたらよいのでしょうか。介護報酬の減額で施設経営は大きな転換期を迎え、また来年四月から始まる介護予防への対応を早急に考えなくてはなりません。そこで、現時点で示された新介護保険制度においていくつかの課題や問題点があり、是正改善に向けて提案するものであります。

- 一、居住費・食費改定への是正（多床室単価の確保、従来型個室、ユニット型個室の適正な単価改正を求める）
- 二、食事サービスに関わる介護報酬の是正（補足給付基準額を引き上げ四・二万円↓四・五万円にすべきである）
- 三、「経口移行加算」を「経口摂取管理加算」とすること（経口摂取を継続するための加算に条件緩和を求める）
- 四、地域包括支援センターを地域型在宅介護支援センターへ受託可能に

(一 空園 施設長)

施設名称の由来と想い

地域名を名称にしている施設も多い中、それはどのような意味があるのか、聞いて初めてなるほどとわかる名称も少なくない。法人独自で施設名称に想いを込めている。その想いと由来を投稿していただいた。

神がまなざしを

注いでいてくださる所

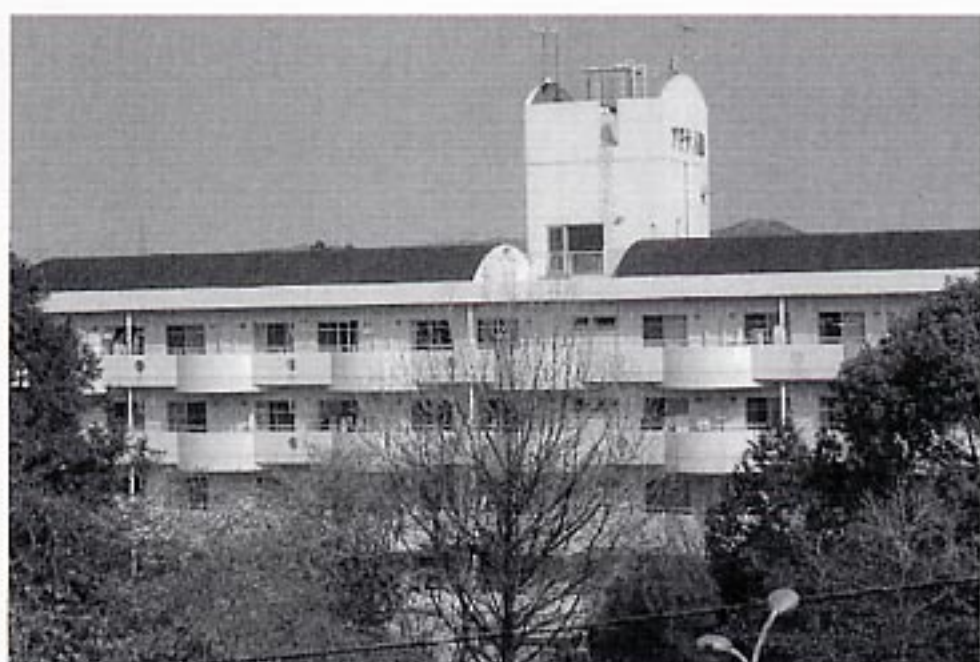
ケアハウス アドナイ館

施設長 宮岸孝一

ケアハウスアドナイ館は、社会福祉法人十字の園の開設三十年記念事業として位置づけられ一九九三年四月に、浜松十字の園・御殿場十字の園・伊豆高原十字の園に次いで建てられました。

「アドナイ館」命名の経緯、十字の園開設当時、ドイツから三方原の聖隷に招かれて来たディアコニッセの五人の姉妹の中で宣教師のストロームさんが活動の拠点として住まわれた家の名を「アドナイ館」と呼んだ。十字の園は遥々ドイツから日本の人々に仕えるため来日された姉妹たちに感謝し気高い志を記念するた

め、開設されるこの施設に「アドナイ館」と名付けた。「アドナイ館」の名前・由来について、聖書の中にアブラハムという人が神様から「世界中の人々の祝福の基となる」約束を得、神様がお命じになられた場所で礼拝を捧げた。



その所を「アドナイ・エレ」と名付けた。アドナイとは（私の主人＝神）エレ（視ておられる）、「主（神）がまなざしを注いでいてくださる」という意味になります。

功德の量が広大で無限

特別養護老人ホーム 福聚荘

施設長 奥川辰次

当法人は、昭和五十二年に社会福祉法人の認可を取得し、保育所の開設からはじまり現在に至ります。

当法人は「施設を利用される方々の立場に立って物事を考え、全ての人々が安心して利用できる施設を目指し、地域福祉に貢献する」を基本理念としていきます。施設を利用される全ての方々に穏やかな態度と言葉遣いで対応し、温かくもてなす心で接することを大切にしています。

昭和五十八年、急速に人口の高齢化が進む中、昔からよくあった「向三軒両隣」的風土が薄れ始め、人間関係が希薄になってきたことが社会問題となっていました。また当時、市内には老人福祉施設は養護老人ホームが一施設あるのみでした。寝たきり等で特別養護老人ホームへの入所が必要な老人は、遠い他市の施設

への入所を余儀なくされておりました。このような状況に加えさらに世論の高齢者福祉への関心が高まり、特別養護老人ホームの整備が急務となりました。また社会福祉法人として、地域の老人が住み慣れた環境で生活ができることを願い、当施設は設立されました。



当施設の名称は観音経の「福聚海無量。是故応頂礼」という経文より頂きました。幸せをもたらす多くの功德の量が海のごとく広大で、計り知れなく無限であるという意味で、観音様の福德を賛美している語です。観音様はあらゆる功德をそなえ持ち、慈悲の目で人々の苦しみ、悩み、心配を取り除いて人々を救ってくださいます。当施設が開設以来、事故なく過ごしてこられたのも観音様のご加護によるものと思っております。

これからも利用者が暮らしやすい施設になるよう、時代に即した運営を職員と共に心掛けて参ります。

満月のような気持ちで

養護老人ホーム 円月荘

ホーム長 渡辺照也

円月荘の玄関ホールに名称のいわれが書かれた額縁が懸かっています。それには「当ホームは仲秋の名月が望め、冬は暖かく夏は涼しく、高齢者の安住の地にふさわしい広潤閑静なこの地にお年寄りの生活の場として開設され、入所者が仲良く楽しく満月のような円やかな気持ちで余生を送れるように願って円月荘と名付けられました。」とあります。さらに調べてみると、名付け親は昭和三十五年事業開始当時の市の助役大井新一氏で、漢詩に長けた氏の文「萬里空盡きて円月天心に澄む」から引用されたとのことあります。

さて、養護老人ホーム藤枝市立円月荘は、昭和三十五年四月に藤枝市高柳にて事業を開始し、施設の整備充実を図るため昭和六十一年に藤枝市与左衛門に移転改築され現在に至っております。近隣施設の公設民営化の流れの中、円月荘も平成十六年

度より社会福祉法人富水会を管理者として運営されることとなり、施設の職員も市の職員から、法人職員に入れ替わりしました。当初は混乱がないかと心配しましたが、すぐにホーム生も法人職員とうちとけて、従前と同じように順調に運営できるようになりました。

藤枝市の南部地域にある当施設は、地域との交流を盛んに行っております。地域の幼稚園、保育園、小・中学校、養護学校との交流をはじめ、施設の夏祭りには地域の方々も毎年大勢参加してくれております。また、元気なホーム生は近くのスーパー等によく出掛けており、地域の方々とも顔なじみになっております。今後も地域とのふれあい交流を大切に育てていき、円月荘の名前に込められた円やかな気持ちで余生を送れるよう、五十名のホーム生と十四名の職員が協力し楽しくやって行けたらと思います。

助け合う 小部屋

ケアハウス

コフレ・アントレード富士

常務理事兼施設長 遠藤一紀

わが国は、いまや世界でも有数の長寿国となりましたが、歳をとっても一人の人間としての尊厳を保ち、生きがいを持って日々を過ごすことが大切な要素であります。

社会福祉法人岳陽会は、本格的な高齢社会を迎え、お年寄りが自宅を離れても居心地の良い住みか、仲間との触れ合いを通じ、豊かで実りある老後を過ごしていただくための施設の必要性から、ケアハウスの建設に至ったものであります。

岳陽会は、地域を支え地域とともに歩む、高齢者福祉の総合拠点づくりを目指しており、ケアハウス「コフレ・アントレード富士」の建設は、その一翼を担うものであります。

コフレとは、フランス語で「小箱」、「宝石箱」という意味です。居室を夢のある宝石箱に例えて名付けました。アントレードもフランス語で「助け合い」の意味です。入居者がお互いに支えあって楽しく暮らすことを期待して名付けました。

「コフレ・アントレード」とは、

「助け合う小部屋」という意味です。



施設の立地する場所は、北に富士山を仰ぎ、南に駿河湾を望み、周辺を茶畑や蜜柑畑に囲まれ、まるで緑の絨毯を敷き詰めたようです。

春には梅や桜、夏には花火、秋にはススキに映える満月、冬は雪化粧した富士山と、四季が肌で感じられる素晴らしい環境の中にあります。

入居の皆さんには、身と心を包み込む最新の居住空間と、満足いただけるサービスを提供しております。

日本一の富士山のもとで、入居の方々が互いに助け合い、生きがいをもって充実した生活をいつまでも続けられますよう、私たちはケアハウス コフレ・アントレード富士を高齢社会のモデル施設として、これからも質の高いサービスをご提供し続けます。

記

当ホームは仲秋の名月がのぞめ
冬暖かく夏は涼しく広潤閑静な
老人憩いの場として安住の地に
ふさわしく入所者が老後の生活の
場として仲よく楽しく満月の
ような円やかな気持ちで余生を送る
よう願って名称を円月荘と名づけ
昭和35年4月開設しました

人や地域を 愛し等しく潤す

特別養護老人ホーム

玉澗園 (ぎよくじゅえん)

施設長 美尾寛寿

「澗」の字は、常用漢字にはなくパソコンにあつては外字登録を必要とし、メールにあつては使用禁止文字とされています。

玉澗園は、昭和五十五年(1980年)に三島市玉沢の地に開設され、二十五年が経ちました。今は不便さよりも特異性を自負しております。

玉澗園の名称は、当法人の創設者であり、先代の理事長である小池正臣氏が「玉沢」という地名と「人は宝玉の如く尊い」との思いから「玉」の字を冠として戴き、又すべての人の心の声を聞き分けたいとの大願を持たれた観世音菩薩について説いた観音経にある「澗甘露法雨(じゅかんろほうう)」の一節より「澗」の一字を採ったと聞いております。

経文における「澗」の字は「そそぐ」と読みます。澗甘露法雨は「大悲の心から甘露(真理の教え、法)をそそぐ」ことを意味し、転じて「うるおす」と解します。従って、

玉澗園は人や地域を愛し等しく潤す園であれとの意味が込められていることとなります。同時に先代小池氏にとっての菩提心でもあるとのことでした。

小池氏より園長職をお預かりして六年、信頼、敬愛、澗い、共生と理念を掲げてきました。最近ようやく「澗(そそぐ)」の意味の深さを知らされたように感じます。



介護保険法の改正との大波を控え施設が厳しい時を迎える今こそ

「澗甘露法雨」

初心に戻って、汲み尽きぬことを信じての職員一人ひとりの慈悲の心、自己犠牲と寛容の精神をこの地、この人達に澗いでいかなければならないと思っております。(合掌)

遷都候補地の伝説から

養護老人ホーム 九重荘

施設長 原田春彦

当施設は、旧浜松市の北部に位置する都田町にあります。都田は「九重の里」とも呼ばれ、この九重の里から施設の名称も九重荘とつけられました。

都田・九重の里ともにその地名については、都田郷土史研究会発行の「都田地区の地名の由来」という研究収録に書かれています。その一部を紹介しますと、

『都田の地名の由来として、最も一般的にしかも興味的に言われているのは、その昔、遷都の候補地となったからという伝説である。このことについて「引佐郡誌」には「今を去ること千二百年の昔、桓武天皇が都を奈良から他に遷さんと給いし時、人をしてこの地(都田の地)を相せしが、谷一つ足らざりしかば、ついに御沙汰止みとなり、さらに山城を相して遷都し給いしと。今村内に丸山、鴨川、猿沢の池などと称する所であり、もちろん後人の仮作に過ぎざるべけれども、極めて古くよりの伝説なり。又この邑里を昔九重の里

と称した」(以下略)とある。

また、九重の里について、

『都田小学校区の九つの地区(自治会単位)を総括して「九重の里」と言っている。「九重」というのは、ものが幾重にも重なっているということから、皇居のことを意味している。このことは当然に国の都のある土地ということにもなる。』

とありますように、この地は伝説とは言え歴史とロマンに満ちた所です。このような地名を施設の名称にもつ当施設も、名前に負けないよう夢ある生活の場を提供できたらと思えます。



かがみいし

特別養護老人ホーム鑑石園

副園長 大林俊一

日本美人の例えに「小野小町か照天姫(てるてひめ)か・」と例えが

ありますが、鑑石園の名前は、この日本美人の代表の一人、照天姫と、施設南側に広がる公園内にある石にまつわる伝説に由来します。

鑑石園は、湧水の豊富な静岡県富士市に在り、鑑石園の事務所のすぐ脇からも豊富な清流が湧き出しています。この湧水は鑑石園の南に隣接する公園内に流れ、公園内に点在する池を満たしています。点在する池の一つの池底に、施設名の由来となったかがみ石があります。

伝説では、照天姫が池底にあるかがみ石に美しい姿を映し、ここで毎日身だしなみを整え、結婚を約束した男性の帰りを待ったとされています。照天姫の伝説を今に伝えるのは、どこにでも有る石一つ。有名な伝説でもありませんが、何百年も地元で語り伝えられたのは、水という生活と切り離す事のできない大切なものと関係していたことが大きな理由でしょう。水を守るため、「照天姫」美しい水汚してはならない」として、歴史を巧みに利用した人々の知恵のように思います。今年度富士市により、このかがみ石の周囲の公園整備が始まり、かがみ石公園（仮称）が誕生する予定です。今は工事のため立ち入りが出来ませんが、多くの人が水に親しみ、水の大切さをあらためて理解される公園が出来上がれ

ば、この伝説は永遠に語り伝えられることになるでしょう。



鑑石園の建つ地は戦前、宗教法人の別荘があり、その別荘の名称もかがみ石から、鑑石園と名づけられ、立派な日本庭園が在りました。戦後はヘルスセンターとして地域の憩いの場であったと聞きます。昭和五十八年に施設が開設、既に地域に親しまれていた名前をそのまま継承させていただきました。

古（いにしえ）の大切なものを守る知恵に学び、照天姫に負けない位の美しさを備えた心と、絶え間なく湧き出す水の如く常に勇氣と理想と力を出し続け、高齢者福祉を押し進めていきたいと思えます。



ギリシヤ語で「仕える」

特別養護老人ホーム

ディアコニア

施設長 山本治子

ディアコニアは袋井市南部の小笠山麓にあります。デンマーク牧場の一角にあると言った方が解りやすいかもしれません。周りは牧場の緑とお茶畑に囲まれ自然豊かな場所です。この地に誕生した「ディアコニア」も二年四ヶ月が経とうとしています。皆様の仲間入りをさせていただき、右も左もわからない私共でしたが、先輩諸氏のご指導を受けながら、何とかここまでやってこられたことを改めて感謝いたします。

さて、施設の名称の由来ですが、「ディアコニアってどういう意味？」とこれまでに何回か質問を受けました。「デコニア」「デンコニア」と今でも間違えて呼ぶ人もいます。特に電話では何やら怪しい業者と間違えられたことすらありました。

でも、私共が「ディアコニア」にこだわった理由があります。「ディアコニア」の意味はギリシヤ語で「仕える」という意味があるそうです。

私共は基本姿勢を「神様が私たち

に仕えてくださったように私たちも仕える」に置こうと決心して、命名したからです。

具体的には「今、目の前にいる人を大切に」をモットーに日々努力を重ねております。介護の技術を磨くこと、正しい知識を持つことは勿論ですが、それらを支えるものは何か、それは一人ひとりの『人間観』ではないでしょうか。この人間観を磨いていかなければならないと思うのです。技術、知識がいかに優れようとも、人に対しての眼差しが優しくなければ、相手の方には十分に伝わらないと思うからです。

日々の介護は厳しいものがあります。決してきれいごとではすまされません。どうしていけば良いのか、試行錯誤の毎日です。そんな中で小さなことに喜びを見出し、みんなでその喜びを分かち合っていきたいと願っています。

これからも、先輩諸施設、ご利用者、ご家族の方々から学びながら、より良いサービスを目指していききたいと思っています。





我が施設のユニーク行事

全体交流会

穏やかな秋晴れの中、デイサービスご利用者の皆様の長寿のお祝いとふれあいを目的に「全体交流会」が行われました。午前は同地域の方々と相互に交流、午後は自治会役員や民生委員、法人役員とご利用者が一緒になって長寿をお祝いしてのコーラスグループの爽やかな歌声や懐かしい曲の合唱などです。

昨年で3回目、毎回法人行事として取り組んでいます。130名の参加があり、たくさんの喜びの声をいただきました。

職員も多くの方とふれあい、笑いや喜びを共有することができました。準備の苦労はありますが、毎回多くの方に楽しんでいただきたいと思います。

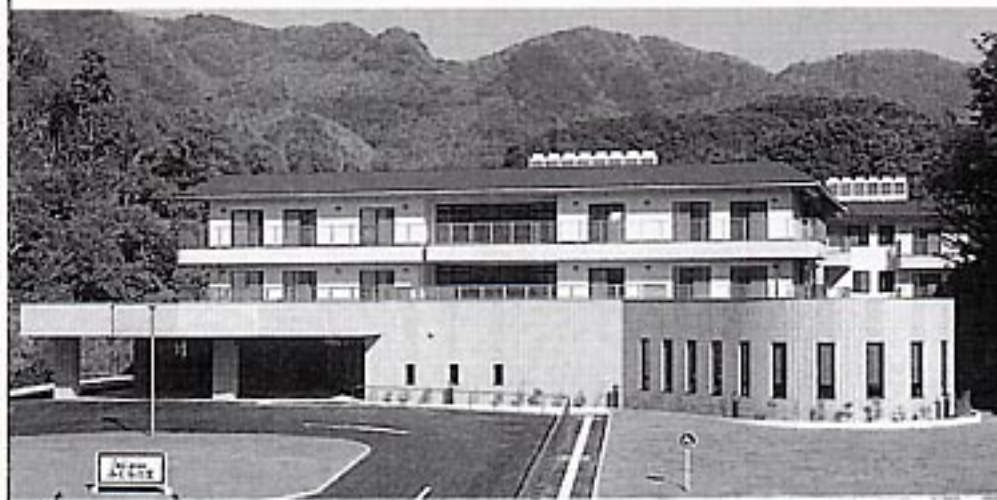
(特養・しあわせの園)



特別養護老人ホーム

みくらの里

平成17年2月25日開設
下田市吉佐美1086番地
入所定員 80名



特別養護老人ホーム

うさみの園

平成17年5月16日開設
伊東市宇佐美2403-1
入所定員 90名



特別養護老人ホーム

小坂の郷

平成17年2月2日開設
静岡市駿河区小坂1106番地の1
入所定員 80名



新加入施設紹介

平成17年9月1日現在

県老施協 ホームページ開設!

ホームページ開設検討小委員会

委員長 奥津匡俊

静岡県老施協では、かねてより、県老施協のホームページ作成の発案があり、協議を進めて来ましたが、昨年度に県老施協の企画調査研修委員会に、正式にホームページ開設小委員会が発足いたしました。

昨年十月には、会員施設へのIT環境の現状調査を行い、各施設のIT化への意識、インターネット接続状況についてのアンケートを実施し、七十%を超える回答を得る事が出来ました。

会員施設の種別で、IT環境は大きく異なるものの、ITを使った情報授受には、回答中九十五%以上の賛成または条件付の賛成を得ました。これを受け、開設小委員会の方針として、ホームページの利用が、会員の利便性と県老施協の発展に資する事を目指し、インターネットを利用し、当初グループウェアを核とした実用メリットがあり、同時に、県老施協事務局の業務省力化につながるものを目指しました。

しかしながら、グループウェア

には、多額な費用が掛かり、会員の負担増が、必ずしも賛同を得られるものではないと判断し、機能面では劣るものの、出来るだけ実用的なホームページを作成することで、会費の値上げや別負担を課す事にならない、安価なものを目指す事にしました。

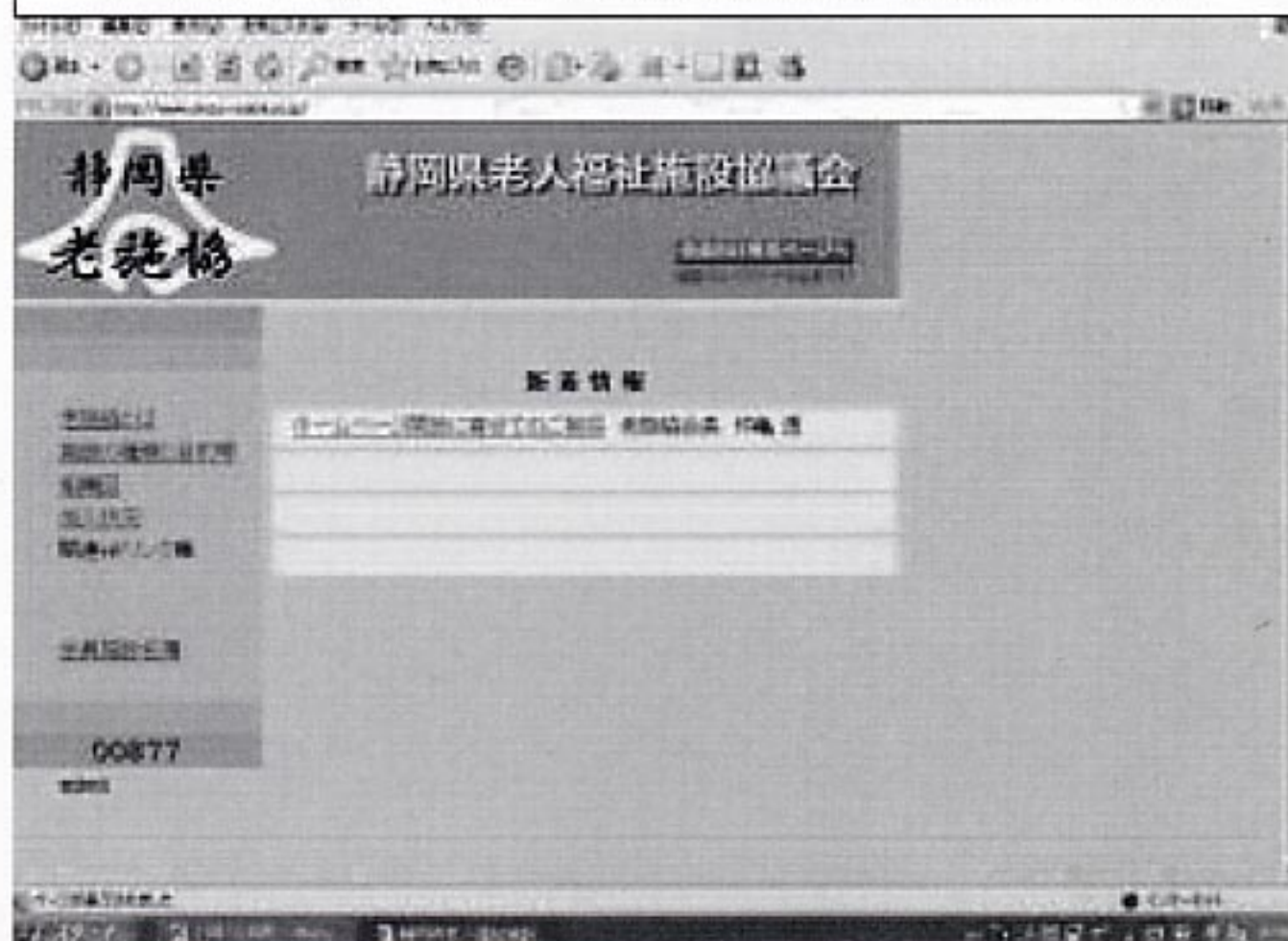
幸い、協力委託先が見つかり、レンタルサーバーを使うことになり、一般向けホームページでは、老施協の概要・加入状況・組織図・関連ホームページリンク集・会員名簿の項目を配しました。

トップページからパスワードで入れる会員専用ページでは、新着のお知らせと共に、事務局・支部・部会・委員会の計画及び報告・携帯電話からも確認できる老施協の予定表・各種資料の詳細の項目に分けて、会員施設の必要な情報が、何時でも、見られるように工夫いたしました。

十月公開に間に合うように、企画調査研修委員長並びに開設小委員会のメンバーには、たびたび御足労願ひ、ホームページ作業及びメンテナンスの協力委託先とのやりとりを実施してまいりました。

当初の不備の点は、追い追ひ、ご意見を賜りながら、充実してまいりたいと考えております、会員施設の積極的なご利用を期待いたします。

アドレスは <http://www.shizu-roshikyo.jp/>



平成18年2月9日(木) 静岡市民文化会館 開催

発表者 募集 ポスターセッションによる施設サービス交流発表報告会

静岡県老施協としては初めての試みですが、新たな方式による職員相互研修会です。どのようなテーマでもかまいません。ポスターによる日頃の活動等を10分程度で発表して下さい。その一歩から、新たな出会いと今後のネットワークが始まります。発表エントリー締め切り：平成17年11月30日 (老施協事務局まで)

部会等報告

県老施協

★総会 十七年五月二十四日、もくせい会館において、十六年度事業報告並びに収支決算(案)について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

★理事会 十七年六月二十八日、県総合社会福祉会館において、県老施協会長表彰、十八年度予算に対する県等への要望事項、各委員会報告について協議しました。なお、各部会からの要望はありませんでしたが、秋に県幹部との懇談会を予定しています。

★理事会 十七年八月二十二日、県総合福祉会館において、本県の衆議院総選挙に係る県老施協推薦議員などについて協議しました。

特養部会

★理事会 十七年五月二十四日、もくせい会館において、十六年度事業報告並びに収支決算、十七年度事業計画並びに収支予算(案)について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

★理事会 十七年六月二十一日、県総合社会福祉会館において、十七年度事業実施計画の策定について協議しました。

研修は七月に食費・居住費、十月に施設感染対策、十二月に経営分析について開催予定です。また、調査は十一月に食費・居住費関連について実施予定です。

★管理者研修会 十七年七月二十三日、県総合社会福祉会館において、全国老施協福岡勉事務局長を講師に「介護保険制度改革」主に食費・居住費徴収について厳しい内容の説明をいただきました。関心が高く三百六十七名の参加がありました。

★職員研修会 十七年九月九日、県総合社会福祉会館において、急遽の対応として「栄養ケア・マネジメント」について管理栄養士など

を対象に開催しました。神奈川県立保健福祉大学杉山みち子教授を講師に、湖東病院原田雅子栄養管理部長及び竜爪園小林美佐枝管理栄養士に施設現場対応をお話していただきました。十月からの栄養ケア・マネジメント加算に備え、県老健協へも呼びかけ、三百七十九名の多職種参加がありました。

委員会報告

企画調査研修委員会

★委員会 十七年六月十日、県総合社会福祉会館において、委員辞任に伴う委員の選任、十七年度研修の実施計画などについて協議しました。研修は九月二十八日、グランシップで地震防災対策、来年二月九日に交流発表報告会を予定しています。

ホームページ開設小委員会

★委員会 十七年六月七日、七月五日、八月十一日、いずれも県総合社会福祉会館において、ホームページの具体的対応策について協議しました。準備のホームページを

立ち上げ、データなどをアップしながら調整しました。そして、前ページのとおり、十月一日の開設となりました。



編集後記

今年の暑い夏を一層暑くした「小泉総選挙劇場」がひとまず幕を閉じました。「地域や人々の面倒をみる情の政治の否定」。今度の選挙について、北大教授の山口二郎氏はその特性と懸念を指摘しました。勝者が優先されて敗者や弱い人が顧みられなくなる恐れはないでしょうか。福祉の分野に影響を及ぼすことのないよう願うものです。

(英)

十月より食費と居住費が保険給付外、全額利用者負担となりました。売値は、原価+利益ではなく、この商品、サービスをいくらで売値なら買っていただけれるかです。それに見あう原価にしなければならぬのが今の経営なのです。(隆)

